

## 日本インターンシップ学会関東支部設立までの沿革

学会の支部が関西支部、九州支部、北海道支部と発足、学会活動が支部活動を中心に行われるようになってきたことを受け、関東支部発足の機運が高まってきた。こうしたなかで、関東支部発足に向けて踏み出すことになった契機は、平成 21 年 10 月 9 日、日本インターンシップ学会 10 周年記念大会が東京国際大学早稲田キャンパスで開催された後の会合であった。田中宣秀（副会長）、石田宏之（常任理事）、太田和男（常任理事）、那須幸雄（常任理事）の 4 名が、「関東とその周辺地域の会員サービスを向上させるため、関東支部を 1 年後に発足させる。その間、発起人を募集し、設立準備研究会を行う。」との合意がなされたことによる（役職名は会合当時のもの）。

その後、関東支部発足までの経緯を詳細に記載すると次の通りとなる。

### 1．関東支部設立第 1 回設立準備委員会

日時：2009 年 10 月 9 日（土）於：東京国際大学

参加者：田中、石田、太田、那須、

議事録：

田中宣秀（副会長）、石田宏之（常任理事）、太田和男（常任理事）、那須幸雄（常任理事）の 4 名が、「学会として関東とその周辺地域の会員サービスを向上させるため、関東支部を 1 年後に発足させる。その間、発起人を募集し、設立準備研究会を行う」ということで合意（役職名は当時のもの）。

関東支部の設立準備委員会（当日の会を第 1 回とする）を発足させ、学会員の設立準備に関する意向や今後の研究内容のニーズを把握するため、アンケートを実施する

### 2．第 2 回設立準備委員会

日時：2010 年 1 月 17 日（日）於：横浜采香新館

参加者：田中・那須・太田・古閑・石田・横山（修）、横山（皓）

議事録：

関東支部発足準備に際し、日本インターンシップ学会関東支部に対するニーズ把握のため、アンケート調査を実施

アンケート調査票は、関東支部への関心に留意して作成

関東支部設立趣意書 A4 判 1 ページで作成し、アンケート調査票に趣意書を同封し、2 月中旬に発送

関東支部設立準備のための第 1 回研究会を、田村紀雄日本インターンシップ学会前会長のご好意により、東京経済大学国分寺キャンパスで開催すること決定

なお、アンケート調査表の内容は以下の通りとし、期待される研究活動についての意見が反映されるように配慮した（調査結果の概要は資料編 を参照）。

#### <アンケート調査内容>

1. 貴大学、貴機関の実施しているインターンシップでお困りになっていることや関心のあることは何ですか。該当するところの（ ）に を付けてください（各質問について、1 つだけお願いします）。
2. インターンシップは貴大学・機関の場合、主にどの分野で役立っていますか。該当するものの（ ）に、いくつでも を付けてください。
3. 日本インターンシップ学会関東支部設立について、お聞かせください。

- 3-1. 上記趣旨の関東支部設立について、お考えをお聞かせください。
- 3-2. (大いに関心がある)または(少し関心がある)と答えた方に伺います。どのような研究・活動テーマに興味がありますか。該当するものの( )にいくつでも付けてください。～を選んだ方は、3-3に進んでください。
- 3-3. 関東支部の掲げる活動として、どのような研究・活動を期待しますか。該当するものの( )に幾つでもつけてください。<なお、当面、関東支部は、関東地域を中心に、北海道支部、関西支部、九州支部以外の地域を含めます。
4. ご回答者ご自身における関東支部結成への関心について、お伺いします。
- 4-1. 学会会員ですか
- 4-2. 関東支部設立に参加しますか
- 4-3. 関東支部設立の研究会・シンポジウム等に参加しますか。
- 4-4. 別紙で、ご案内の通り、3月27日(土)、東京経済大学会場で開催される「関東支部設立準備研究会 第1回」に参加しますか。
5. インターンシップに関する実践・研究・学会活動の改良方向についてご意見をご自由にご記載ください

### 3. 第3回設立準備委員会

日時：2010年2月20日(土) 於：中央大学駿河台記念館

参加者：田中・那須・太田・牛山・古閑・石田、

#### 議事録

研究会参加名簿の作成・支部参加名簿の作成

現状での関東圏に居住されている学会員の名簿作成

研究会の進め方について

当日の資料配布；発表者へのご案内...パワーポイントの使用有無、資料の準備等

研究会の進め方：総合司会 太田和男、コディネータ 田中宣秀

研究会準備作業

### 4. 第4回設立準備委員会

日時と場所：2010年3月21日(日) 於：中央大学駿河台記念館

参加者：田中・那須・太田・牛山・古閑・石田、横山(皓)

#### 議事録

研究会参加者確保のため関東地区以外の役員への案内状を送付するなど、研究会参加者拡大について検討することとした。

### 5. 第5回設立準備委員会

日時：2010年4月24日(土) 於：中央大学駿河台記念館

参加者：田中・那須・太田・牛山・古閑・石田

議事録：支部のミッション、アクション・プラン(案)を決定

## 5-1.支部のミッション

### (1) インターンシップとそれを包含するキャリア教育構築に向けての研究・協力・支援

次の項目につき、支部会員が協力し、支部地域を中心に持続的発展をめざすこととした。

インターンシップやそれを包含するキャリア教育の構築について、会員への情報提供・交換、助言を行い、場合によっては講師、指導員を派遣する。また、その研究資料、事例の蓄積と公開、刊行などを推進  
注目される新分野についてのインターンシップ・ノウハウの研究を推進

各種のインターンシップ(大学院における研究インターンシップ、長期インターンシップ、初等・中等教育機関におけるインターンシップ。国際インターンシップ、サービスラーニングなど)についての分析、事例報告を推進

対外発信力を強化する。このため、フォーラムの成果、種々の研究成果発表をもとに発信、提言する。広報担当部門としては当面事務局が担当、実施

### (2) 若手研究家の発掘育成

支部活動を持続的かつ発展的に遂行するため、若手研究家の発掘育成を特に強化

若手研究者育成の一環として、部会長・副会長を置き、部会運営を委嘱

## 5-2.アクションプラン(略)

## 日本インターンシップ学会関東支部設立準備第1回研究会

2010年3月27日、東京経済大学において関東支部設立のための第1回研究会を、安川東京経済大学副学長、田村日本インターンシップ学会前会長のご列席のもと、約60名の参加者を得て開催。

### 1. 日本インターンシップ学会関東支部設立準備第1回研究会 プログラム

日時： 3月27日(土) 13:00~17:00(受付:12:20~)

会場：東京経済大学国分寺キャンパス・6号館7階・中会議室3

主催：日本インターンシップ学会関東支部設立準備のための有志一同

総司会：太田和男(帝京平成大学)、コーディネータ：田中宣秀(電気通信大学)

13:00~13:20(挨拶)

御挨拶1：安川 隆司氏 (東京経済大学)

御挨拶2：日本インターンシップ学会会長・吉本圭一氏 (九州大学)

関東支部設立にむけて：日本インターンシップ学会前会長・田村紀雄氏 (東京経済大学)

13:30~15:10(研究発表)

研究発表1：高橋 宏氏 (東京国際大学)

「地域活性化とインターンシップ」

研究発表2：大久保公人氏 (Euro RSCG Tokyo)

「ビジネス・サイドから見たインターンシップ」

研究発表3：折戸 晴雄氏 (玉川大学経営学部観光経営学科)

「海外インターンシップ」

研究発表4：桂川 保彦氏 (帝京平成大学現代ライフ学部経営マネジメント学科)

「警察インターンシップとスポーツインターンシップによる地域活性化」

15:10~15:30(休憩)

15:30~17:10(研究発表)

研究発表5：伊藤 滋子氏 (JIPC)

「観光インターンシップ(海外)の実績と展望について」

研究発表6：道畑 美希氏 (東洋大学国際地域学部国際観光学科)

「観光インターンシップの実際」

研究発表7：嶋村 一之氏 (横浜商科大学・JIPC)

「ホテル・インターンシップ」

研究発表8：満野 順一郎氏 (日本ホテル協会)

「求められるホテル人材と育成策の課題」

17:10~17:20(休憩)

情報交換会 (17:20~18:00)

## 日本インターンシップ学会関東支部設立準備発起人会

日時：2010年6月12日(土) 10時30分～

会場：中央大学駿河台記念館

出席者；関東支部発起人会には発起人31名(資料 編 資料2参照)のうち、以下の18名の会員が出席して、発足した。

出席者：石田、牛山、太田、折戸、桂川、小池、古閑、高橋(宏)、田中、千葉、那須、樋口、藤原、牧野、横山(修)、古畑、薬師丸、横山(皓)

議長・司会：石田宏之

議事次第(配布資料は巻末の資料編に掲載)

1. 設立の経緯...世話人代表 太田和男
2. 関東支部設立目的(骨子)の確認(資料編 の資料1)  
了承
3. 発起人の紹介  
発起人として出席者18名の自己紹介(資料編 の資料2)
4. 発起人会の組織と今後の日程
  - 4-1 発起人代表および幹事  
発起人代表として太田和男が選任  
幹事はいずれ決定とした
  - 4-2. 事務局  
石田宏之(事務局長)、牛山佳菜代、小池慎介(会計)
  - 4-3. グループの結成提案  
観光インターンシップ、国際インターンシップ、サービスマーケティング(ボランティア活動)、地域活動、職業教育(キャリアガイダンス)などのグループなどを立ち上げ、戦略的提言を行う。
  - 4-4. 研究会の予定(資料編 の資料3)  
参加費は1000円
5. 関東支部の組織
  - 5-1. 参加資格・・・順次決定する。
  - 5-2. 支部組織  
企画グループとし、田中宣秀、石田宏之、那須幸雄、太田和男が担当・推進する。
  - 5-3. 内規・・・順次決定する。
6. 提案  
仙石大臣(当時)が5月25日に立ち上げた所管「実践キャリア戦略推進チーム」へのコンタクトと提案を天谷会員より検討するよう提案)  
大学のインターンシップ履修者やその事後学習の就職活動におよぼす効果の検証  
海外インターンシップの効果に関する数量的把握などが今後の検討のこととした
7. 田中宣秀[「キャリア教育・職業教育の在り方」に関する審議会報告に関するコメント発表

## 日本インターンシップ学会関東支部設立準備第2回研究会

関東支部設立のための第2回研究会が目白大学で盛大に開催された。参加者は約65名  
当日のプログラムは以下の通り。

### 関東支部設立準備第2回研究会・プログラム

#### テーマ：「職業教育とインターンシップ」

日時：2010年8月28日(土) 開始：13：30～（受付 13：00）

会場：目白大学新宿キャンパス 10号館 10508 教室

主催：関東支部設立準備発起人会

1. 開会 : 13:30 太田 和男 (帝京平成大学)
2. 学会長挨拶 : 13:35～ 吉本 圭一氏 (九州大学)
3. 基調講演 : 13:40～ (司会 太田 和男)  
安彦 忠彦氏 (早稲田大学)  
「職業教育・キャリア教育のあり方について  
～職業指導を念頭に置いて～」
4. 発表 : 14:40～  
小林 隆江氏 (シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル  
人事総務部 シニアHRオフィサー)  
「ホテル・インターンシップの課題と展望」
5. 休憩 : 15:15～15:25
6. 発表 : 15:25～  
島田 薫氏 (聖徳大学)  
「インターンシップの実績とシステムのあり方」
7. 発表 : 16:00～  
奥田 美都子氏 (職業能力開発総合大学校講師)  
「転職支援・就職支援の実態とインターンシップ」
8. 発表 : 16:35～  
横山 修一氏 (工学院大学・日本インターンシップ推進協会会長)  
「キャリアガイダンスとインターンシップ」
9. まとめと質疑 : 17:10～ 田中 宣秀氏 (電気通信大学)
10. 閉会 : 17:25
11. 情報交換会 : 17:30～



**安彦 忠彦氏** (早稲田大学教授)

「職業教育・キャリア教育のあり方について～職業指導を念頭に置いて～」



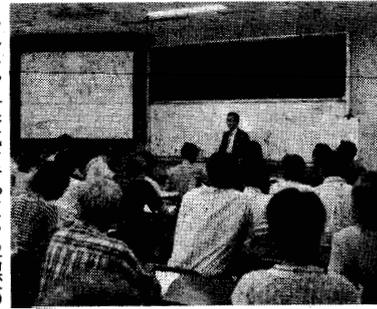
**島田 薫氏**  
(聖徳大学教授)



**奥田 美都子氏**  
(職業能力開発総合大学校講師)

# 「職業教育とインターンシップ」

学会関東支部設立準備会が研究会



日本インターンシップ学会関東支部設立準備会は八月二十八日、目白大学新宿キャンパスにおいて、第二回研究会を開催した。このたびのテーマは「職業教育とインターンシップ」。

はじめに安彦忠彦早稲田大学教授が、職業教育・キャリア教育のあり方について基調講演を行った(写真右)。中教審のキャリア教育・職業教育特別部会「第二次審議経過報告」について概要を解説した上で、日本は

形成を行っている高校の職業教育・キャリア教育とは異なる。大学でのキャリア教育の独自性は職業を相対化する態度の確立である」と述べた。

続いて、①シエラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル人事総務部の小林隆江シニアHRオフィサー、②聖徳大学女性キャリア学科の島田薫教授、③職業能力開発総合大学の奥田美都子講師、④工学院大学の横山修一教授の四氏による発表が行われた。

島田氏は同学科必修科目のインターンシップの事例(三年次に六カ月)や実績を紹介。同学科ではインターンシップの派遣に際し、独自基準(マ

ナー、パソコン、英語)を設け、それに達しないと派遣しないという。

奥田氏は「キャリア形成支援・就職支援とインターンシップ」について発表。主体である学生のニーズが満たされないなどの問題点を挙げ、「学生・大学・受入施設の三者が共にメリットを共有できるしくみづくりが必要である」と述べた。

日本インターンシップ推進協会の会長でもある横山氏は、キャリア教育の課題として①評価手法が確立されていない、②キャリア教育を担うコーディネーターが必要などを挙げた。最後に「目標を持った学生を育ていくことが大切である」と語った。

なお、同準備会は来年三月の支部設立を目指しており、このたびの研究室には大学関係者ら約六〇名が参加した。